

こころと痛みの「漢方外来」



田中 純哉（麻酔科医長）

「特に異常ないので・・・」と言われたら

手足は冷えて体もだるい、頭は痛いしめまいもする、お腹も弱くて疲れやすい・・・。本人にとってはつらいこんな症状も病院で相談すると「検査は特に異常ないので様子見てください」。こんなふうに言われたことはないですか。原因がはっきりしないこれらの不定愁訴に対し、まずはしっかりと話を伺い、患者さまの体質的・精神的傾向（東洋医学では「証」といいます）を判断し、効果的な漢方薬を処方します。



睡眠薬や精神科のお薬はちょっと・・・

漢方薬は「からだ」だけでなく「こころ」にも作用を發揮します。寝たいのに眠れない、気分が前向きにならない、のどが詰まった感じがする、胸がどきどきする・・・。これらの症状はうつや不安障害のサインかもしれません。そんな時、精神科や心療内科への受診に抵抗を感じる方は、まずは「こころ」のサプリメントとして漢方薬はいかがでしょう。すでに抗不安薬や抗うつ薬を内服中の方も減量・離脱に漢方薬の併用が有効です。なかには漢方薬により睡眠薬を手放すことが出来る方もいらっしゃいます。



冬は痛みの季節

年を重ねると誰しも肩や膝や腰に慢性的な痛みを抱えますが、その原因の一つに「冷え」の問題があります。特に、お風呂に入ると痛みが和らぐ、という方は冷えが悪さをしていることも多く、そんな時は体を温める漢方薬の出番です。桂枝や乾姜、附子などの働きで体を温め、血流を改善し、痛みを和らげます。冷え症の多い女性に漢方が好まれる所以です。男性の冷えや夏場のエアコンの寒さに効果的な処方もありますのでぜひお試しください。

●11月より漢方外来を始めさせていただきました。「こころ」と「からだ」を分けてとらえない“心身一如”の考え方に基づく漢方治療は、自然体であることを大事にする方にあった体調管理と言えるでしょう。「風邪をひいたら葛根湯」、のようにすばやく効く処方もありますが、ゆっくりと効果を發揮する種類の漢方薬は体質改善の効果も期待できます。日頃の健康維持に役立てたい方もぜひ一度漢方外来へお越しください。



【対象患者】

- ・ 当院かかりつけの患者さま
- ・ 入院中の患者さま
- ・ 院外への告示はしておりませんが、当院初診の患者さまも診察いたします。

【担当医】麻酔科 田中純哉

【診察日】毎週火曜日 14:00 ~ 17:00

予約制です。受診をご希望の方は各科担当医に予約（麻酔科 麻酔紹介枠）をご依頼ください。